

知財経営をテコに提案・開発型企业へ！ 組織力強化を目指す

会社名 協和ファインテック株式会社
 所在地 岡山県岡山市東区金岡西町948-9
 従業員 247名(2023年9月現在)
 資本金 5,950万円
 売上高 58億円(2024年2月期)
 業 種 精密ギアポンプ・計測機器・産業機器・医療機器等の開発・製造・販売



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 経営者は、独自のギアポンプ設計開発及び製造ノウハウを核とした事業展開に向けて、これまでとは質的に異なる組織としての機能や能力・スキルを高めていく必要があると考えていた。また、社内全体で共有できる指針を明確に打ち出すことが必要と考えていた。

支援を受けてできるようになったこと

After

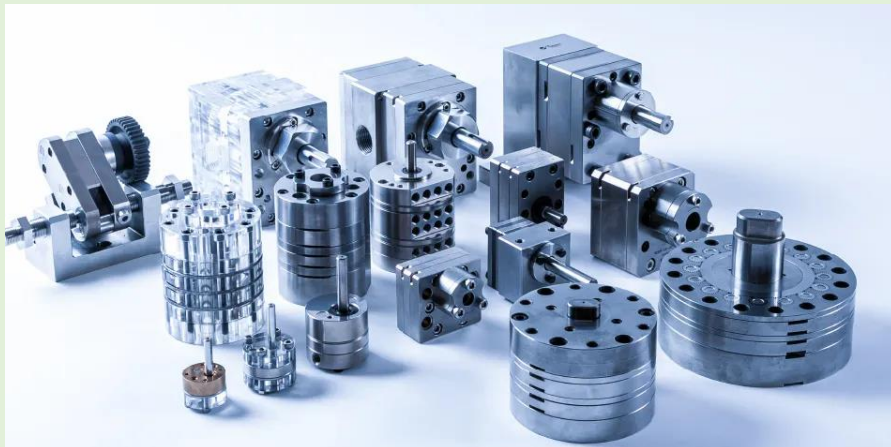
- 特許を中心とする知財分析、及び知財の管理活用が事業戦略・経営戦略に活用できることを習得。特許分析による競業他社の技術動向調査、仮説の立証、営業秘密情報の活用と管理等の社内基盤の確立並びに体制強化(知財担当職員(兼務含め5名)、商用DB JP-NET導入等)につなげ、目標実現のための仕組みを確立できた。

今後の事業展開の展望

Future

- ギアポンプ技術の幅広い応用を提案するべく、知財管理・活用体制の拡充と営業秘密管理の徹底(全社施策としての横展開)を図っていく。
- 経営者のビジョンを浸透・定着させるべく、各部門において具体的なアクションに落とし込み、組織としての変容を早期に実現させていく。

加速的支援を受けた事業や商材



ギアポンプ技術をコアとした化合繊機、押し出し成形機などの産業機器事業と人工透析機などの医療機器事業を手がけてきた同社。強みであるギアポンプ技術(化合繊機器で培った、世界トップレベルのバックフローのない高性能ギアポンプを開発する能力)を生かし、それらを核とした設計開発に経営資源を集中させ、既存事業の拡大と成長領域への展開を加速させている。

【出典】協和ファインテック株式会社ホームページ
<https://www.kyowa-ft.co.jp/#business>



加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
事業戦略の見直しとロードマップ作成	事業戦略の見直しを行う過程で上記の経営支援手法のプロセスを習得し、加速的支援期間終了後、支援企業自らが上記の経営支援手法を活用してロードマップに落とし込めることが必要。
事業戦略に対応できる営業―開発―製造体制の再構築	用途展開対応できる営業から開発・製造まで社内全体の実行体制の再構築と、技術営業、提案営業ができる技術者育成をサポートし、社内体制として定着させることが必要。
根幹技術であるギアポンプのノウハウの洗い出し	事業ロードマップを踏まえ、現在保有しているギアポンプのノウハウを設計から製造までの工程から洗い出し、体系化(見える化)し、社内共有をもって事業推進力を強化させる。
ギアポンプ応用事業展開に伴うリスクに備えた知財戦略の構築	事業戦略とそのロードマップに基づく研究開発戦略・知財戦略の策定を行い、今後創出される知財のポートフォリオ強化を図る。
営業秘密管理体制の確立	技術の漏えいや独占実施など、不利益を被らないために必要な営業秘密管理体制を確立させる。

加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
事業戦略の再構築	<ul style="list-style-type: none">ビジネスモデルキャンパス(BMC)を用いたビジネスの全体像・ターゲット顧客の想定・今後の事業展開における課題を整理できた。	中小企業診断士 弁理士 弁護士
事業戦略に対応できる内部体制の再構築	<ul style="list-style-type: none">ギアポンプの応用展開を図る企画開発部を新設するほか、知財人材の育成と体制の整備を実現させた。知財担当職員の任命、商用知財DBの採用など組織変容を実現できる施策を実施した。	中小企業診断士 弁理士
ノウハウの見える化	<ul style="list-style-type: none">ギアポンプのノウハウの洗い出しを行い、それらを営業秘密区分に分類した(1つの工場での試行実施)。ギアポンプ関連の営業秘密管理規定が整備され、岩国工場で営業秘密管理の本格運用へつなげた。	中小企業診断士 弁理士 弁護士
知財戦略策定	<ul style="list-style-type: none">製品製造工程における塗布工程、立体構造物製造工程、分岐流路にギアポンプの応用展開の可能性を見いだすことができた。	中小企業診断士 弁理士
営業秘密管理体制の確立	<ul style="list-style-type: none">営業秘密管理規定の整備が完了し、運用段階に入った。社内に定着しつつある。	弁護士 知財EX

支援チーム紹介

主担当専門家: 弁理士・一級建築士 田中 正男
活用専門家: 中小企業診断士、弁理士、知財EX、弁護士
知財総合支援窓口担当者: 岡山県知財総合支援窓口 藤原 直樹
PO(プログラムオフィサー): 後藤 昌彦